

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス やまのこ		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 15日		~ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2026年 2月 15日		~ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月 7日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族様とは情報共有及び連携が取れており、相談しやすい環境の提供が出来ている。	児童の行動や発言等に気をやり、いつもと違う言動等があった場合家族様にラインや連絡帳を通して発信している。	学校との情報共有を今後強化して、支援の仕方の統一を計りたい。
2	戸外活動で買い物体験や外食体験、クッキング等をし、経験値の向上を図る。色々な事にチャレンジしてもらい、自信を持てるよう成功体験を積み重ねる様、支援している。又、失敗の体験もし、気持ちの切り替えがスムーズになれるよう、その日のうちに振り返り等を個別で行っている。	外食体験では、決められた金額範囲内でメニューを選び、注文及び会計まで個人で行う。買い物体験も同様、電卓を使い計算し、会計まで個人で行う。クッキングは担当を決め職員見守りの中、切る・焼く・煮る・盛り付けまでの工程を行っている。	これらの工程を自発的に出来るよう支援していく。
3	小集団での活動が難しい児童に対しては個別での活動を取り入れ、児童の気持ちや状態に応じた支援をしている。参加したくない活動に児童には無理に参加してもらおうのではなく、見学と言う選択肢を与え自分で選べるようにし、無理強いをしないようにしている。	作業療法士対応にて個別療育を行っている。徐々に小集団の中で活動出来るように無理のない支援をしている。	児童の個別支援計画の内容を職員会議等で職員全員に再度周知し、支援方法の統一を図る。

へ

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の出席率が低い。利用カレンダーの予定では定員だが、当日(家事都合、体調不良)での休みが多い。	感染症(インフルエンザ、コロナ、溶連菌)等以外の家事都合での休みについては、活動内容に関係しているのではないかと推測します。又、活動内容に問題があるのではないかと思います。	活動内容の見直し等を、作成前に再度検討する。
2	低学年の児童が多く在籍しており、活動内容が低学年ができる物を多く取り入れている為、高学年の児童にとっては、物足りなさがある。活動内容を高学年向けにすると低学年がついてこない。	勝敗がつくような内容の活動を多く取り入れるとトラブルが発生する為、創作活動等を多く取り入れている。	天気の良い日や気温が安定している日は外での活動が出来るので、上級生、下級生と分けて活動をしたいが、目が行き届かない部分もある為、安全が確保できるための方法等を考えていく。
3	事業所内に死角が多く、児童の見守りなど突発的な動き等に対処がしにくい。	児童のグループがバラバラに分かれており、グループ分の職員の数と合っていない。	活動以外の自由時間など児童が分かれて過ごす場合、2グループを見守れるような配置にに対応していく。